



ID: 1121

科目名	地域文化 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Region and Culture I						
担当教員名	樋口 崇之			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
地域社会とそこに住まい人々が織りなす様々な文化について学んでいく。地域社会を把握するために地域社会がどのように構成されているかの理解を進めるとともに、そこで行なわれる活動を見ていくことで、文化形成のしくみを考えていく。							
到達目標							
地域と文化の概念を理解する。地域社会の多様性を理解する。身近な地域社会に関心を持つ。							
授業計画							
第1回	地域社会とは何か(1) イントロダクション、地域社会をどのように捉えるか。						
第2回	地域社会とは何か(2) 地域社会へのアプローチとその方法。						
第3回	地域空間と地域文化(1) 歴史的理解と空間的理解。						
第4回	地域空間と地域文化(2) 民俗と伝統文化。						
第5回	地域の変化(1) 都市化と過疎化。						
第6回	地域の変化(2) 近代化にかかる生業の変化。						
第7回	地域開発と環境(1) 自然環境と歴史環境の保全。						
第8回	地域開発と環境(2) 自然との共存。						
第9回	地域の抱える問題(1) 社会問題と地域の関係。						
第10回	地域の抱える問題(2) 都市と農山漁村。						
第11回	アジアの共同体(1) 村落共同体というあり方。						
第12回	アジアの共同体(2) 共同体論の課題。						
第13回	地域の活性化(1) 地域活性化とは。						
第14回	地域の活性化(2) 地域活性化の枠組みと具体的事例。						
第15回	まとめ						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
開講時に指示する。履修者及び履修予定者は最初の講義には必ず出席のこと。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			10%	30%	0%	50%	10%
授業外学習			テキスト、教材				
予めテキストの対象範囲を通読しておくこと。日常的に新聞、雑誌、Web等で地域に関する情報に接すること。			『むらの社会を研究する—フィールドからの発想—』日本村落研究学会編 農山漁村文化協会 2007				
参考書			受講生へのメッセージ				
『新詳高等地図』帝国書院編集部編 帝国書院 等の地図帳を参考文献として指定する。			講義の維持に支障となるふるまいは認めません。講義の形成に積極的な参加を求めます。				
キーワード							
地域社会 都市 農山漁村 近代 伝統							